

酸化防止剤（食品添加物・化粧品原料基準・医薬品添加物）

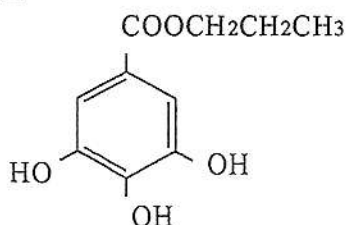
没食子酸プロピル

没食子酸プロピルは食品、化粧品、及び医薬品の油脂酸化防止剤として国内、海外各国で幅広く使用実績を持つ商品です。
また電子材料分野ではフォトレジストの洗浄組成物、腐食防止等に用いられております。

特徴

1. 植物タンニン（ポリフェノール）を原料としているので、安全性に優れています。
2. 抗酸化力が他の酸化防止剤より強い。
3. 標準使用量が他の酸化防止剤より少なく、経済的です。

没食子酸プロピルの構造



抗酸化力の比較データ（AOM 試験）

		AOM 安定度（時間）	
抗酸化剤	添加量（%）	パーム油	ラード油
対照	無添加	68	10
BHA	0.02	75	65
トコフェロール(80%)	0.02	70	35
没食子酸プロピル	0.002	120	30
〃	0.005	135	55
〃	0.01	160	100
〃	0.02	185	140

使用方法

対象とする油脂の一部をとり、これに没食子酸プロピルの添加量全量を加え、加温溶解した後、この混合物を油脂全量に混合する。
標準添加量は油脂に対して 0.01～0.005%をめぐにご使用ください。

使用上の注意

没食子酸プロピルは鉄イオンと反応して青色に着色する性質を持っています。
ビタミンC、クエン酸等を添加することにより着色を防ぐことができますが、鉄イオンとの接触を避けてください。

没食子酸プロピルの溶解性

溶媒	溶解度 (g/100g 溶媒)	温度
水	0.35	25℃
エタノール	103	25℃
グリセリン	40	20℃
プロピレングリコール	30	20℃
パーム油	1.2	30℃
ラード	1.1	45℃

使用基準

食品添加物：油脂及びバターにのみ使用が許可されており、その限度は製品 1kg に対して 0.1g 以下です。

食品への表示例

酸化防止剤(没食子酸)

包装

10kg カートンケース

規格

	食品添加物	医薬品添加物	化粧品原料基準
外観	類白色結晶性粉末	類白色結晶性粉末	類白色結晶性粉末
融点	146～150℃	146～150℃	146～150℃
塩化物	0.028%以下	0.028%以下	0.028%以下
硫酸塩	0.048%以下	0.048%以下	0.038%以下
重金属	20 μ g/g以下	20 μ g/g以下	40ppm以下
ヒ素	4 μ g/g以下	4 μ g/g以下	——
乾燥減量	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下
強熱残分	0.10%以下	0.10%以下	0.10%以下
含量	98.0～102.0%	98.0～104.0%	——
類縁物質	——	適合	——

富士化学工業株式会社

本社工場/〒640-8392 和歌山市中之島1570番地 TEL.073-423-1247 FAX.073-431-3005
東京営業所/〒103-0012 東京都中央区日本橋蛸留町1-10-15 TEL.03-6231-1192 FAX.03-6231-1191
<http://www.fujichem.co.jp>